

2016 年国際会議統計調査について

【目次】

1. 調査対象となる国際会議	2
2. 国際会議統計の選定基準	3
3. 「2016 年国際会議統計調査票」の記入方法	5
4. 「2016 年国際会議統計調査票」の提出方法	10
5. 国際会議統計調査の流れ	10

1. 調査対象となる国際会議

以下に該当する国際会議が、今回の調査対象となります。

- ① 2016年1月1日から2016年12月31日までに開催または開催が予定される会議
- ② 2017年1月1日以降に日本での開催および開催地が決定している会議

①でご報告いただいた会議については、「2016年国際会議統計(JNTO 発行)」に反映するとともに、UIA(国際団体連合:Union of International Associations:注1)およびICCA(国際会議協会:International Congress and Convention Association:注2)へ情報提供いたします。

注1 UIA : 1907年にベルギー・ブリュッセルにおいて設立された非営利・非政府の団体。6万を超える組織団体等に関わる情報の調査・収集・分析を実施しており、その活動の一環としてUIA基準(2.国際会議統計の選定基準 参照)に基づく国際会議統計を6月頃に発表している。

注2 ICCA : 国際会議関連企業・政府系機関・専門家集団がまとまって設立した国際機関(本部:アムステルダム)。
国際会議・行催事の開催情報の収集および発信を行うことで、世界における国際会議・行催事の開催促進を図っており、ICCA基準(2.国際会議統計の選定基準 参照)に基づく国際会議統計を5月頃に発表している。

②でご報告いただいた会議の中で、「会議情報の公開可」とされている会議については、JNTOのMICE関連情報サイト(<http://mice.jnto.go.jp>)等への掲載対象とさせていただきます。(P.5「会議情報の公開の可否」参照)

2. 国際会議統計の選定基準

「JNTO 国際会議統計」、「UIA 国際会議統計」および「ICCA 国際会議統計」における「国際会議」の定義は、以下の通りです。

「JNTO 国際会議統計」（編集・発行 日本政府観光局(JNTO)）

以下の①～④を全て満たす会議を、「国際会議」とします。

- ① 主催者：国際機関・国際団体(各国支部を含む)又は
国家機関・国内団体(各々の定義が明確ではないため、
「公共色を帯びていない民間企業」以外は全て)
- ② 参加者総数：50名以上
- ③ 参加国数：日本を含む3カ国以上
- ④ 開催期間：1日以上

<対象にならないもの>

- 私企業による企業内会議
- 大学などの研究機関が行う講義(学内・学外を問わず)
- 投資の勧誘を目的とした投資セミナー
- 観光客誘致を目的とした観光セミナー
- 学習を目的とする研修会・教室
- 宗教団体の儀式・集会
ある特定宗教の勧誘のための会議や儀式は、国際会議とみなしません。
(国際会議とみなす例：日本印度学仏教学会第59回学術大会)
- 留学支援セミナーや会議を伴わない国際交流
- 単なるスポーツの試合のみの大会
- 内訳(参加国数、外国人参加者数など)が不明な会議
- 「展示会が主体となっており、その中に組み込まれている会議」で、参加国数・参加者数などの内訳が分からない会議

「国際団体連合(UIA)統計」(編集・発行 UIA)

<国際会議の定義>

UIAが定める国際会議は以下の2種類であり、1または2のいずれも個々の会議要件を全て満たしている必要があります。

1. UIAのリストに登録されている国際機関・国際団体の本部が主催又は後援した会議

- ① 参加者総数 : 50名以上
- ② 参加国数 : 日本を含む3カ国以上
- ③ 開催期間 : 1日以上

2. 国内団体もしくは国際団体支部等が主催した会議

- ① 開催国以外からの参加者が、少なくとも総参加者の40%
- ② 参加者総数 : 300名以上(ただし、展示会が併催されている場合は参加者総数の条件を満たすものとして扱います。)
- ③ 参加国数 : 日本を含む5カ国以上
- ④ 開催期間 : 3日以上

JNTOでは、皆様からご提出いただいた会議情報について、上記の要件に合致しているか調査し、UIAへ報告いたします。

「国際会議協会(ICCA)統計」(編集・発行 ICCA)

<国際会議の定義>

- ① 参加者総数 : 50名以上
- ② 開催期間 : 定期的開催(1回のみ開催した会議は除外)
- ③ 開催国について : 日本を含む3カ国以上で会議のローテーションがある
(2カ国間会議は除外)

(また、政府系会議、国連主催の会議は除外)

JNTOでは、皆様からご提出いただいた会議情報について、上記の要件に合致しているか調査し、ICCAへ報告いたします。

3. 「2016年国際会議統計調査票」の記入方法

3-1. 記入時の注意事項

- ・ 「2016年国際会議統計調査票」には、本3～4ページに記載している「国際会議統計選定基準（JNTO、UIA、ICCA）」の定義を満たす国際会議のみをご記入下さい。
- ・ 「2016年国際会議統計調査票」の上段には、「JNTO 国際会議統計」の必須項目を水色で、「UIA 統計」、「ICCA 統計」の必須項目をオレンジ色で色付けして示しています。ご提出いただいた情報は、JNTO で UIA 基準、ICCA 基準を満たす会議であるかどうかを精査し、当該機関に提出致します。
- ・ 国際会議・セミナー・シンポジウムなどの名称を問わず、幅広く調査対象として下さい。ただし、「展示会が主体となっており、その中に組み込まれている会議」を調査対象とする場合は、参加国数・参加者数などの内訳が分かる会議のみをご記入下さい。参加国数・参加者数などの内訳が分からない会議は、「JNTO 国際会議統計」の基準を満たさないものと致します。
- ・ 「2016年国際会議統計調査票」には、全ての項目をご記入下さい。調査票の情報項目に欠落がある会議については採用できませんので、予めご了承願います。
- ・ 「2016年国際会議統計調査票」は必ず、JNTO からメールでお送りする、JNTO が作成したものをご利用いただくようお願い致します。既定の「2016年国際会議統計調査票」に行を挿入したり項目を追加したりすると、ご提出いただいたデータを誤って JNTO のデータベースに取り込むこととなりますので、フォーマットの変更を行わないようお願い致します。
- ・ 「2016年国際会議統計調査票」にご記入いただく段階で、当該会議がまだ開催されていない場合は、予定されている範囲の情報をご記入下さい。ただし、参加国数・参加者数などの内訳(推計)は必ずご記入をお願い致します。

3-2. 各記入欄の説明

● 会議情報の公開の可否

ご提出いただく国際会議情報について、公開が可能な場合は“○”、不可能な場合は“×”をご記入ください。

公開が可能な会議については、JNTO 発行の統計集「2016年国際会議統計」及び JNTO の MICE 関連情報サイト(<http://mice.jnto.go.jp>)への掲載、ならびに一般メディアへの公表をいた

します。

会議情報の公開が不可“×”である場合、会議の詳細について「2016 年国際会議統計」および「JNTO コンベンション誘致部のウェブサイト」への掲載は行いません。ただし、開催件数のカウントには含めます。また、公式ウェブサイトがある国際会議は、一般に公開されている（公表が可能なものとして扱います）。

なお、UIA 統計、ICCA 統計に認定された会議は、全て UIA、ICCA のデータベース上に公開されます。

● 会議名(和文)

会議の公式ウェブサイトやポスター等に掲載されている正式な会議名を省略せずに記入して下さい。会議名が英語名のみで、公式な日本語訳がない(ウェブサイトなどが英文のみで、日本語ページがない)場合は、英語名を記入して下さい。(英語名を直訳する必要はありません。)

- ・ 会議名が「国際シンポジウム」のみの場合は、主題を会議名に含めて下さい。

(記入例) 国際シンポジウム「アンデス言説をめぐるコンフリクト」

「主題」を挿入してください

- ・ シリーズで会議・セミナーが行われている場合は、そのシリーズ名も併記して下さい。

(記入例) 京都大学数理解析研究所研究集会「非可換代数幾何学とその周辺」

「シリーズ名」を挿入してください

- ・ 「展示会が主体となっており、その中に組み込まれている会議」の場合は、展示会の名称の後ろに会議に相当する「会議」、「セミナー」、「シンポジウム」などの言葉を括弧書きで追記して下さい。

(記入例) 第10回○○○展 (○○○会議)

「会議」に相当する言葉を挿入してください

● 会議名(英文)

会議の公式ウェブサイトやポスターに掲載されている会議名を省略せずに記入して下さい。会議名が日本語名のみで、公式な英語訳がない(ウェブサイトなどが和文のみで、英語ページがない)場合は、英語名を直訳して下さい。その場合、セル内の文字を青色づけして、直訳したことが分かるようにして下さい。

● 分野

会議を内容別に、以下の 11 分野に分類し、該当する番号を選んで下さい。番号は、「2016 年国際会議統計調査票」のエクセルシート上で、プルダウン形式(セル上で自動的に番号が羅列される形式)で選べます。

① 政治・経済・法律

軍縮、防衛、核兵器、大臣会合(分野に関わらず)・国家間会議、特許・知的財産、APEC 関連、アジア開発銀行関連、経済・経営学、安全保障 など

② 科学・技術・自然

物理学、生物学、環境、数学、災害・防災、ISO 関連、農学、エネルギー、技術開発、地質学、IT、ナノテクノロジー、情報、工学、バイオ など

③ 医学

薬学、放射線、移植、健康、受入れ先が医学部となっている国際会議、看護 など

④ 産業

食品、自動車、映像 など

⑤ 芸術・文化・教育

文学、歴史、人材育成、語学、ボーイスカウト、音楽、映画、考古学、心理学など

⑥ 社会

ジェンダー、貧困、社会開発(例: JICA 関連)、社会貢献、人間の安全保障、国際協力 など

⑦ 運輸・観光

航空、船舶、輸送、物流、国際観光、地域観光、産業観光 など

ただし、観光客誘致を目的とした観光セミナーは、国際会議とみなしません。

⑧ 社交・親善

多国間の親善を目的として開催された会議 など

ただし、留学支援セミナーや会議を伴わない国際交流は、国際会議とみなしません。

⑨ 宗教

学問としての宗教がテーマとなっている会議。ただし、ある特定宗教の勧誘のための会議や儀式は、国際会議とみなしません。

(国際会議とみなす例) 日本印度学仏教学会第 59 回学術大会

⑩ スポーツ

スポーツ分野に関するセミナーや講演会などがある場合は、国際会議に含めます。
ただし、単なるスポーツの試合のみの大会は、国際会議とみなしません。

⑪ その他

上記の①から⑩のどの分野にも、当てはまらない会議

● 開催年・始月・始日・終月・終日

会議のプログラムの日程を記入して下さい。(会議開催期間の以前もしくは以後に登録受付、ウェルカムレセプション、エクスカージョンなどが設定されている場合は開催日数から除外することとします。)

開催日数は、開始日と終了日より JNTO で日数を算出いたします。

● 開催会場

会議の開催会場の正式名称を記入して下さい。複数の会場で開催された場合は、それらを全て記入して下さい。また、大学で開催された場合は、キャンパス名まで記入して下さい(大学のキャンパスが複数都市にまたがる場合、会議開催地の取り扱いが変わるため)

なお、レセプション、エクスカージョンの会場・場所は記入しないようお願い致します。

● 開催都道府県(和文)・開催都道府県(英文)

会議開催都道府県を記入して下さい。複数の都道府県で開催された場合は、それらを全て記入して下さい

記入例 : 東京都(和文) ・ Tokyo(英文)

● 開催都市(和文)・開催都市(英文)

会議開催都市を記入して下さい。複数の都市で開催された場合は、それらを全て記入して下さい。

記入例1 : 横浜市(和文) ・ Yokohama(英文)

記入例2 : 横浜市、川崎市(和文) ・ Yokohama, Kawasaki(英文)

● 参加国・地域数(日本を含む)

日本を含んだ参加国数を記入して下さい。

記入例 : 参加国が日本・韓国・中国 → **参加国数:3カ国**

【注】

香港、マカオ、グアム、サイパン(北マリアナ諸島)、プエルトリコ、ニューカレドニア、タヒチ、グリーンランド、パレスチナ、台湾など(特別行政区、準州、自治領、海外領土、海外準県、独自の政府を持つ地域など)は、世界的に単体でカウントされています。本統計においても1つの参加国数(「地域」として整理)としてみなすことにいたします。

● **外国人参加者数**

会議に参加するために来日した外国人の人数を記入して下さい。会議出席を目的に来日した会議代表、オブザーバー、同伴家族も含まれます。ただし、プレス関係者、在日外国人(留学生を含む)は、カウントしないで下さい。

● **国内参加者数**

会議に参加した日本人、日本在住者の人数を記入して下さい。在日外国人(留学生を含む)は、国内参加者数にカウントして下さい。参加者総数は海外参加者数と国内参加者数より JNTO で算出いたします。

● **国内受入団体名(和文)・国内受入団体名(英文)**

国際会議の受け入れ先となっている国内団体名を、日本語および英語で記入して下さい。この項目は、「UIA が定める国内団体主催の会議」に当たるかどうかを判断する上で必要となります。

(例) 会議受入代表者: △△大学〇〇教授 ××学会(××機関、××協会)所属
→大学名ではなく、「××学会(××機関、××協会)」が国内受入団体となります。

● **海外主催者名**

国際会議を主催または後援する国際団体名を、英語で記入して下さい。(略称でも可。)
この項目は、UIA が登録している国際機関・国際団体に該当するか否かを判断する上で必要となります。

(例) 「International 〇〇 Organization(国際〇〇学会)」の下に、地域団体(リージョナルオフィス)として「日本〇〇学会」がある場合、海外主催者は「International 〇〇 Organization」となります。

● **展示会の併催の有無**

会議の開催会場で展示会が併催されている場合には“○”を、併設されていない場合には“×”を記入して下さい。ポスターセッションも展示会に含めます。この項目は、「UIA 統計」にて参加者総数の取り扱いを考慮する際に必要となります。

● **会議ウェブサイト(日本語サイト・英語サイト)**

ご提出いただく国際会議情報を JNTO で精査する際に必要となりますので、必ず記載をお願いします。記載がない場合、会議開催状況の確認ができないため「JNTO 国際会議統計」の選定から外れる可能性が高くなります。会議の公式ウェブサイトがない場合は、会議の開催が確認できる別のウェブサイトをご記入いただくか、参考資料(会議情報が確認できる資料)の PDF データを、ご提出の際に添付して下さい。

4. 「2016 年国際会議統計調査票」の提出方法

- 提出内容： ① 別紙1「担当者・提出件数確認用紙」
② 別紙2「2016 年国際会議統計調査票」

- 提出締め切り： 2016 年 11 月 7 日(月)

「国際会議統計調査」は、下記の「5.国際会議統計調査の流れ」のとおり、締め切りを 2 回に分けて設定しています。

1 回目にご提出(締め切り:2016 年 11 月 7 日)いただいた内容は、「JNTO 国際会議統計」に活用されると共に、JNTO から UIA 及び ICCA へ提出し、世界の国際会議統計(「UIA 統計」、「ICCA 統計」)に反映されます。

2 回目にご提出(締め切り:2017 年 3 月下旬)いただく内容は、世界の国際会議統計(「UIA 統計」、「ICCA 統計」)には反映できませんのでご注意ください。

- 提出方法： 上記①及び②をメールに添付して、下記のアドレスまでお送り下さい。

JNTO インバウンド戦略部 調査・研究グループ survey@jnto.go.jp

5. 国際会議統計調査の流れ

2016 年	
7 月	「国際会議統計調査」について、JNTO から皆様にご協力をお願い <u>国際会議情報の提出締め切り</u> (第 1 回目締め切り)
11 月 7 日	
11 月下旬～	
2017 年	
1 月下旬	JNTO から ICCA 及び UIA へ、国際会議情報を提出 <u>国際会議の追加・修正情報の提出締め切り</u> (第 2 回目締め切り)
3 月下旬	
4 月～	国際会議情報を集約・精査
5 月	ICCA 統計の発表(2016 年分)
6 月	UIA 統計の発表(2016 年分)
下半期	JNTO 国際会議統計の発表(2016 年分)

過去の統計情報は、JNTO から毎年皆様にお送りしている統計集「JNTO 国際会議統計」および、JNTO の MICE 関連情報サイト(http://mice.jnto.go.jp/data/meeting_statistics.php)からご覧頂けます。

【お問い合わせ先】

国際会議統計全般、および、提出方法についてのお問い合わせは、
下記までお願い致します。



日本政府観光局(JNTO)インバウンド戦略部 調査・コンサルティンググループ
国際会議統計担当: 青山

TEL 03-3216-1901 FAX 03-3214-7680

E-mail survey@jnto.go.jp



Japan. Meetings & Events
New ideas start here